

高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE

2005年(平成17年)7月7日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会 第40号

新しい友を迎えて

学長 村澤 忠司



新緑の香る高田短期大学のキャンパスに、今年も、幼児教育学科とオフィス情報学科、海外からの留学生を加えて、212名の学生を迎えることが出来ました。希望に燃えて入学された諸君の一人ひとりを心から歓迎いたします。

皆さん方を迎入れる高田短期大学は、創立から40年を迎えます。

言行忠信・表裏相応(言行に誠意があつて表裏がなく、己をいつわらず、他人をいつわらない)を建学の精神として、仏教に基づいた情操を養い、豊かな人間性を形成する教育を目標としています。思いやりの心と豊かな人間性の育成のために、日頃教職員・学生共々励んでいます。

日本の社会は、いま、非常に混沌とした変化の激しい時代です。各地で頻繁に起こる自然の災害、ますます進む社会の風紀の悪化、ひたひたと迫りくる高齢化と少子化、好転が見込めない労働市場...と多くの方々

が見聞・体験していることでしょう。こういった社会であるからこそ、大学は、「生きる力を自分で養う場」であると私は思います。自分にとって「生きる力」とは何か、まず、考えていただきたいと思います。

本学の建学の精神を支える教育理念である「思いやりの心と豊かな人間性の育成」を一步一歩実現していく中にその答えがあるのではないのでしょうか。そのためには、日々の講義を十分に習得すること、読書すること、友人と語り合うこと、地域の方々との交わり、教員や専門家に学ぶことなどをし、先達の「生きざま」を知り、自ら行動することを通して学び、獲得することによって自分自身の付加価値を高めていくことではないかと思えます。

やもすれば、我々は自己中心的な言動に陥りますが、皆さんは大自然の中に生かされていると言った謙虚な気持ちを忘れずに、与えられた人生を如何に生きるのかと言った自分なりの「生きるための哲学」を見つけて下さい。

さて、大学は人と人の新たな出会いの場でもあります。本学においては、人と人、人と自然と優しく触れあうことができる「おおらかな心」を持った心豊かな人間の育成をモットーに教育を行っています。「教員との心のふれあいを重視しつつ、学生の個性をいかした、きめ細かい教育」が本学の特色です。多くの友、先輩、教職員等の多くの出会いの中

学生自治会

昨年に続き、今年も執行部は12人という大所帯です。

毎週の会議では、学生のみなさんが大学生活を楽しく過ごせるように、12人全員が様々な意見を出し合い、全力で取り組んでいます。

私たち執行部としての活動は、昨年度に初めて行われたTJC祭(運動会)から始まり、高短祭に向けて少しずつ動き出しています。これから、大変な事もきつとあると思いますが、12人力を合わせて日々頑張っていきたいです。

ここで、私たち執行部が活動している内容を紹介します。

① 学生自治会の年間業務の企画・予算

② 「高短祭」の計画・実施

③ 卒業アルバム編集

④ 謝恩会の企画・実施

で、お互いが啓発され、友情を深めあえる、一生の友を得てほしいと思います。

最後になりましたが、これからの2年間、健康にくれぐれも留意され、有意義な学生生活を送って頂くことを切望しています。また、次の春には社会へ飛び立たなければならぬ2年生の皆さんは、今一度、初心に立ち返り、高田短期大学での充実した日々を過ごされることを期待しています。

⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催

⑥ 「セーフティかた」での地域の安全活動

⑦ TJC祭の企画・実施

などです。

学生生活の中の一大イベントの「高短祭」は今年で40回を迎えることとなりました。すでに10月29日(土)・30日(日)に開催が決まっております。模擬店・展示、様々なイベント、各クラブ活動、同好会の催し物、昨年也大いに盛り上がったビンゴ大会などを考えています。また、学生のみなさんが「高短祭」を楽しめるよう、企画に対するアンケートを実施したいと考えています。企画に対する要望、模擬店・展示・イベントなどに関する質問等、ぜひ「高短祭」でやってみたいと思うこと、なんでもいいのでみなさんのご意見をお待ちしています。そして、全員が協力して「高短祭」を盛り上げていきましょう! 各クラブ、同好会のみなさんもよろしく願います。そして当日は、先生方も含め全員参加で、地域のみなさんとも一緒に楽しみましょう。



今年の執行部メンバー12人

幼児教育学科

コーナー

現代地域社会の
幼児教育と子育てを支える
保育者養成をめざして学科長
二宅 啓子

高田短期大学は本年度40周年を迎えます。その歴史をたどってみましょう。昭和41年に「保育科」(入学定員50名)が開設されました。そして10年後、昭和51年に入学定員が100名に増員されました。

その後、時代は昭和から平成に移り、平成5年に「保育科」は「幼児教育学科」に改称され、現在に至っています。その間、地域で求められる保育者養成をモットーに、教育課程の充実を図り、学生の保育者としての資質を向上すべく努力して参りました。お蔭様で就職率も毎年、ほぼ100パーセントに達し、三重県では、各地の幼稚園・保育所等、大変多くの卒業生の皆様が活躍してみえます。私どもが学生の実習でお世話になり、御礼に各園に伺いますと、必ず「高田短期大学を卒業しました。」と懐かしそうに声をかけてくださいます。現場で生き生きと働いている卒業生の姿を拝見した時程、うれ

しいことはありません。

現代の子どもたちのおかれている状況を考えますと、少子化現象・核家族化・地域連携の希薄化・留守宅家庭児の増加等、地域の子育てを支援する環境作りが必要で

す。そして子どもの幸せを考えると更に、障害児保育・児童福祉施設における保育・教育等、多様な現代子育てに対応できる保育者の養成が求められています。そのような地域のニーズに益々寄り添い、確かな専門性と実践力を兼ね備えた保育者を養成することが必要です。

そのようなことから本学では、平成18年度から『子ども学科』に名称変更し、100名から150名へと定員増を行い、「幼児教育学科」と「子ども福祉コース」を設置します。それぞれ、目的に応じて求められる仕事内容・職種・地域ニーズ等に対応し、次世代の教育・保育・育児・子育てに「夢と笑いを育む」人材養成ができる新学科にしたいと考えています。

①「幼児教育学科」―幼児教育保育の基礎と応用実践力養成コース(心豊かで人間教育及び専門知識・保育技術の基礎をしっかりと学ぶ幼児教育者を目指します)。

②「子ども福祉コース」―子育て支援・福祉保育の基礎と実践力

養成コース(子どもの幸せを中心に障害児保育、多様な現代保育ニーズの理解・専門知識及び対応の仕方を学ぶ保育者の養成を目指します)。

幼児教育学科は、どちらかというと就職先を幼稚園・保育所に子ども福祉コースは、保育所・児童福祉施設に希望する学生を養成する予定です。何卒、新「子ども学科」の誕生をご支援賜りますようお願いいたします。

*本年も地域貢献事業として「高田短期大学保育セミナー第2回」を8月28日(日)に開催します。内容は、「子どもの見方と楽しい造形遊び」を計画の中で、リカレント教育の一環ですので、どうぞ、若い保育者や日々の保育教材製作に関心のある方は、ふるってご参加ください。

*本年は開学40周年を迎えます。つきましては、40周年記念行事をただいま計画中です。

高田短期大学が『地域に根付く実践型短期大学』として、益々発展できますように「思いやりの心」と「豊かな人間性」を教育の理念として、質の高い教育・保育者養成に邁進したいと思えます。



研究余滴

大仏のレシピ

采翠 真澄

松阪市のお寺がある。ここには地方では珍しい丈六の金銅仏(銅造阿彌陀如来坐像・元文二年作)が安置されており、古くから美濃田大仏と呼ばれ、地域の信仰対象として大切に守られてきた。丈六(一丈六尺)というのは仏像を造る時の一つの基準となる大きさであり、これが坐像、つまり座った状態になると八尺(約2メートル50センチ、真楽寺の金銅仏は像高3メートル)になるわけであるが、いずれにしても大仏と呼ぶに十分な大きさであろう。

大仏という誰もがすぐに思い浮かぶのが、奈良の東大寺にある毘盧舍那仏、いわゆる「奈良の大仏」であろう。こちらは像高が14メートル98センチある。では、これらの巨大な仏像はいつたどのようなようにして造られたのか、皆さんはご存じだろうか。仏像の作り方はその大きさや形態によって様々であるが、一般的に大きな像は土型(つちがた)と呼ばれる技法が用いられ、土(粘土砂)を用いてまず原型を造る。要するに粘土で仏像を造るような感覚である。

次に、できた土の原型をまた別の土度のおおい外型を造る。外型はある程度大きさに分割して造り、乾燥したら取り外す。そして現れた原型の

表面を薄く削り取る。この削り取った後のものは、中子(なかこ)と呼ばれる。そして再び外型を中子に溶かして組み上げ、先程削った部分に溶解した青銅(ブロンズ)が流し込むのであるが、もちろん一気にはあれだけの量の青銅を溶解して流し込むことは不可能であるから、下から順に段々と外型を組み合わせては流し込み、また組み合わせては流し込みという作業を繰り返すのである。これを分鑄という。東大寺の大仏は全部で八段に分けて流し込まれたといわれ、真楽寺の大仏は更に細かく、段ではなく外型一型につき一回流し込んだようである。(但し、頭部と左手首、右腕は別に鑄造してはめ込んである)

真楽寺の大仏の背面には約25センチ四方の穴が開けられており、そこから中をのぞくとこれらの様子がよく分かる。型の境目は巧妙に重ね合わせられ、さらに鉄製のかすがいがからめられている。その技術は驚くべきもので、重機も何もなかった時代にこれだけの仕事をした当時の鋳物師達には、まったく頭が下がる思いである。

皆さんもぜひ一度、この「三重の大仏」を拝見し、これを手仕事で造った当時の鋳物師たちの心意気、その素晴らしい技術を感じていただきたいと思う。

※真楽寺の大仏は大仏殿に安置されており、像内部を見学することは通常できません。

オフィス情報学科
コーナーキャリアプランニングを
全力で支援

学科長

真弓 徳光

オフィス情報学科では、地域の人材育成を通して社会に貢献していくという理念を持って、教育に当たってきました。そして、昨年より質の高い教育の提供と、能力の高い学生の育成をしていくための方策を検討し、この4月新たな教育プロジェクトを導入する運びとなりました。ここでは、学科の教育方針とその新たな教育プロジェクトの紹介をさせていただきます。

1. オフィス情報学科の教育目標

着実にすぐれた技能を習得することができ、教育体制の実現を目指します。そして、そこから生まれる自信に裏付けられた、心からの笑顔と明るさは社会生活を送る中で、貴重な財産となるでしょう。また、教えること、学ぶことの尊さを教員・学生ともに認識し、何事にも誠意を持って取り組む姿勢を



学科内で育んでいきます。以上の学科の教育目標を3つのSでまとめ学科の標語として掲げています。
Smile (笑顔) — キラキラと輝く笑顔の

学生を育てます
Skill (技能) — 学生の技能と資格取得をサポートします
Sincerity (誠実) — 誠実な学生を育てます

2. 新たな教育プロジェクト

先に述べた学科の教育目標実現のために、4月よりキャリア・アップグレード・プロジェクトに着手しました。キャリアアップグレードとは、より技術力の高い仕事を受け留める能力の養成をしていくことです。それは、学生だけでなく教員の教育技能の向上をも含んでいます。教育は学科と学生および保護者との契約で成り立っていると認識しています。各教員は担当している科目で何を提供できるのかを明確にし、その実現のために教育技能の向上に努めていきます。また、学生に対しては、学ぶ目的と目標の設定により、着実に技能を伸ばしていくことができる体制を築いていきます。

このプロジェクトを具体的に推進していくために以下の3つの項目を実施していきます。

①スキルアワード制度

実務科目では、その科目が提供する学習内容を明らかにします。そしてその項目について、学生は受講期間中にどの項目まで到達できたのかを自己評価できるようにしています。最後に、その同じ項目について教員が客観評価し成績を判定します。それぞれの科目で設定した基準を満たした学生は、学科として公式に発表していきます。また、資格

取得についても関連科目でサポートし、合格した学生は難易度に応じて表彰していきます。なお、スキルアワードの対象となっている資格は以下のとおりです。

ワープロ検定、マイクロオフィススペシャリスト、初級システムアドミニストレータ、日商簿記検定、漢字検定、TOEIC、秘書検定

②学生の自己分析サポート

将来の進路を考えると、自分がいったいどのような人間であるのかを把握することが大切になってきます。本学科では、適性診断テストの実施だけではなく、少人数制ゼミナールで随時担当教員が相談に乗るとともに、日ごろの短大での生活で、教員が各学生の長所を発見したときには記録にとどめ、定期的に本人に伝え、積極的に自己分析のサポートを行います。

③進路・就職のサポート

全学科専任教員で、就職先開拓のための会社訪問を行うとともに、就職講座の運営に当たります。これは、すべての教員が、地域社会が求める人材像を認識し、それぞれの担当科目において教育内容に反映させていくことをねらいとしています。また、就職活動の実際を把握し、個々の学生に適切なアドバイスができる体制を築いています。

このように新年度を迎え、気持ちを新たに、学生指導に当たっているオフィス情報学科の教育方針にご理解・ご支援のほどよろしくお願い致します。

研究余滴

キャリアはつくられる

手嶋 慎介

筆者は、主に企業の経営について論じる経営学を専門としている（ここになつてゐる）。「専門としている」と軽々しく言えないのは、学生時代に手ほどきを受けたお二人の指導教授の存在が大きいからだ。現在、研究課題としているのは「キャリアプランニング支援のための経営学的研究」である。ここでは自らの研究キャリアの第一歩である学生時代をふり返ってみたいと思う。

学部生時代には、人事・労務管理論のゼミを専攻した。当時は、人生全般の幸せを前提とし、個人主導のキャリア形成のための「労働時間の短縮」を自らのテーマとしていた（大げさに言えば）。指導教授は、愛知労働基準局賃金相談員など学界を超えて広く活躍されていたこともあり、実践的な話が議論の焦点となっていた。社会体験の浅い自分にとっては、どこか他人事のような感じもあった。だが、直接的に社会と関わることによって「知」を得る重要性だけは自然に身につけることができた。近年の人材派遣会社での教育研修活動に繋がっていると思う。

一方、院生時代の指導教授は、経営学の泰斗とまで言われる大先生であった。そのゼミナールの初年度はマンツーマンであり、相当にやり込

められ、本当に涙を流した。先生が怖くて仕方がなかった。先生の風貌は、歴史の教科書の肖像画として（あるいはマンガに）登場してきそうなほどの学者然としたものであり、堅物そのものという感じだった。他の受講生がいる講義科目においても、学問の厳しさを体感させられた。ノール経済学者ハーバート・サイモンの「経営行動」を1年にわたって輪読したが、睡魔と闘いながら何とか本に噛り付くばかりだった。さらにその原書も読まれたが理解できるはずもなかった。ちなみに、先生は少なくとも原書を50回は繰り返し熟読したと仰っていた。

経営学とは「理論と実践の学」、キャリアとは「生涯を通しての人間の生き方・表現である」と言われる。こうして振り返ってみると、お金には恵まれない研究生活を送ってきたものの、先生をはじめ、多くの理解者に恵まれていたように思う。仲間との議論を通じ「理論と実践」を学んだ。そして、少しずつ、知らず知らずのうちに、自分らしいキャリアを形成してこれたのではないかなとも思う。

キャリアプランニング支援のために、自らの力を振り絞る。自分自身の力を出し惜しみしない。これが今後の教育・研究活動へのスタンスだ。ところで、「難解な本は、何回も読んでください」というのは、今にして思えば、大先生の精一杯のギャグだったのだろうか…

着任のみなさん



「笑顔」で共に
学びましょう
織田紀代子

ユマニテク福祉専門学校から、緑多い高田短期大学に着任させていただきました。早数ヶ月が経ちました。私は介護福祉士として働いていた時から高短の「ヘルパー2級」の講師として通算4年関わりました。

今年の4月の学生健康診断の時「あれ？」と顔を見てニッコリされたり、「あれ、ユマニテクの先生やったのに、高短の先生になったんや」と声をかけてくださる学生があり、高短の教員に加えていただき「学生と共に学ぼう」と意欲が沸いてきました。今日迄、歩んできた人生の中で「笑顔」はとても大切だと思いました。笑顔を忘れず共に学びましょう。どうかよろしく願っています。



子どもに
寄り添う保育を
内藤由佳子

豊かな自然に囲まれたこの高田短期大学に着任し、数ヶ月が過ぎようとしています。着任に際し、兵庫県、西宮市から津市へ移り住んでまいりました。三重県は歴史的に見ても幼児教育の豊かな蓄積があり、また今日の視点においても、さまざまな新しい取り組みが見られることから、地域に根ざした実践研究に大変興味を持っています。今後、学生の皆さんとも双方向的に

かわりながら、充実した教育・研究生活を送るよう努力したいと思えます。よろしく願っています。



良きコミュニケーションを
めざして
平田 祐子

今春よりオフィス情報学科でコミュニケーション関連科目（国語表現、文書作成、英会話など）を担当しております。

人と人をつないでいるのはコミュニケーションです。文書表現や口頭表現の基本から実践的な応用能力を修得していただき、時代や文化に即した「良きコミュニケーションのあり方」を指導していく所存でございます。学生諸君に様々なコミュニケーションのあり方を熟考して修得していただきたいと願っております。



よく考えて、
よく動きましょう
手嶋 慎介

オフィス情報学科の一員としてビジネス・キャリア関連科目を担当させていただいております。

この4月以来、諸先生方の教育・研究活動に対する情熱をひしひしと感じながら毎日を通してまいります。私自身も成長させていただきながら、微力ながらも最大限の貢献をしていきたいと思っています。世の中がどう変わろうとも、「いま・ここ」で「できること」から実行していくことだと思っています。どうぞよろしく願っています。

はじめまして

森本 佳奈

今年の3月に本学の幼児教育学科を卒業し、縁あってそのままこの高田短期大学で勤務させて頂くこととなりました。今は事務局総務課で、庶務的な業務に携わっています。

学務課とは違い学生の皆さんと直接関わる機会はないけれど、本学で学んだ経験をいかし、卒業生としての立場から、皆さんのお役に立つことができればと考えています。

まだまだ未熟ではございますが、いろいろな業務を通して日々成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願っています。

退任のみなさん



みなさん
ありがとう!!
中田 登子

12年間の勤務が無事終わりました。心軽やかに高田の丘を下ることが出来たのは、皆さんのお力添えをいただいたからこそ心より感謝いたします。

この10年間にも世の中の状況は大きく変化し、いろいろな事件が多く起り、毎日があわただしいと感じます。このような時に、建学の精神が私たちに何かを語りかけているように思います。「自然や人間を慈しみ尊重する豊かな人間性」を持つことが、今求められているように思います。この精神を

大切にすることが、高田学苑の将来の栄光につながると思います。



21年お世話に
なりました
首藤 善樹

あの坂道を歩いて登り下りすること21年。桜にツツジ、新緑に秋の草花など、四季折々の風情を楽しませていただきました。中でも自転車置き場の近くで、坂道を横切る野ウサギを見た驚きは今も忘れません。高田高校からの道はとも風が強く、難儀することもしばしばでした。目の前で、体格のよい男の先生が、風に吹かれて田んぼに落ちたこともありました。今後、新しい学科を加え、ますます発展されますことを願っています。



高田短期大学の
退任にあたって
駒田 聡子

5年間の年月を短大で過ごさせていただき、その間におかげさまで県内各地の保育園・幼稚園関係者や行政、その他様々な方々とながらを持つことが出来ました。今後はこの5年間で知り合えた方々との縁を大切に、更に社会で活動したいと考えております。またこれも不思議な縁ではありますが、高田短大を退職後同じ本山の高田福祉事業協会で事務局長補佐・看護師として働かせていただくことになりました。今後とも同じ「高田」で働く一人としてよろしくお願いしたいと思います。

追悼・伊東功先生

幼児教育学科 三宅 啓子



伊東先生の突然の訃報に際し、ただただ、驚きと残念さでいっぱいでした。その一週間前、津市内で開催されたピアノリサイタルでお会いしたばかりでした。

先生は、高田短期大学で平成3年4月から平成11年3月の定年で退職されるまでの間、いろいろな職を歴任され、その一つ一つに真摯な態度で取り組み、着実に結果として形に残されるお仕事振りでした。

先生は勿論のこと、私たち教職員も、先生が積み重ねてこられた教育経験と実績から教わるのが大変多くありました。ありがとうございます。今も、先生がよく口にされる言葉「ホウ」が思い出されます。先生のご冥福を心からお祈りいたします。

仏教文化 研究センター

センター長 大西眞純

高田短期大学仏教文化研究センターは平成6年4月1日に高田短期大学旧1号館内に開設され、平成8年4月1日に高田短期大学図書館内に移設されました。本年4月1日に組織改正が行われ、高田短期大学共同研究施設として育児文化研究センターと仏教文化研究センターが地域貢献と連携の拠点として位置づけられることとなりました。仏教文化研究センターは、従来から『顕正流義鈔』の研究や、仏教文化研究センター公開講座などを通じて、研究成果を公にし地域との連携に努めてまいりました。今まで以上に地域の方々と交流を深めてまいります。新たな仏教文化研究センターの目標として次の3つの点を掲げています。

①「地域への貢献と交流」では、

幼稚園や保育園などへの仏教文化を基礎とした支援や高齢者福祉施設への支援、仏教文化研究センター公開講座の開催など、仏教文化を基盤とした豊かな精神生活を目指した支援を行っていきます。



鈴鹿西岸寺所蔵『顕正流義鈔』
真慧上人真筆と伝えられる

②「仏教行事の実施」では、建学の精神に基づき、社会人として豊かな教養と精神を身に付けた人材を育てる教育機関として、全教職員、全学生及び地域の方々と共に生を考えた合掌の心を実践する場として仏教行事を催してまいります。

③「仏教文化の研究と公開」では、仏教に関する書物の解釈とその研究を行っており、その成果を出版物として公開してまいります。また、仏教文化研究センターの蔵書を公開することにより広く研究等に活用していただけるようにしています。

仏教文化研究センターは、皆様方と共に心豊かな世の中となるよう活動して参りたいと願っております。

育児文化 研究センター

センター長 豊田和子

平成16年10月1日に、「高田短期大学育児文化研究センター」が開設されました。その目的は、名称のとおり、「保育・教育、子育て問題、児童文化発展の面で地域貢献・連携をめざし、子育て支援に寄与する」とです。

ご承知のように、昨今、わが国は少子化の一途で、子どもは増えない・子育ては困難をきたすという、過去に例を見ないほどの子どもの保育や教育・福祉の領域では課題山積です。国は、10年ほど前から様々な政策を打ち出していますが、なかなか事態は好転しておりません。三重県でも同様に、子育て問題は大きな壁にぶつかっております。

こうした中で、県はもとより各自治体も「地域の教育力再生」や「次世代育成」などに関するいろいろな対策を打ち出して、課題を解決しようとしています。

このような状況において、本学は県内で数少ない保育者養成の大学として、その専門性を生かしながら地域の役に立ちたい、保育や児童福祉の現場と手を結

んで子育てに明るい未来を創生することに寄与したいとの願いで、このセンターは誕生いたしました。

顧問として櫻井實（三重大学名誉教授・医学博士）、谷岡経津子（四日市大学総合政策学部教授）、太田和子（前三重県国公立幼稚園長会会長・四日市市立富田幼稚園長）三氏のお力添えをいただいております。構成員は、学内研究員15名、学外の客員研究員14名で、大きな協力体制を得ています。

主な事業内容は、（一）保育・育児に関する情報発信、（二）本学施設を開放して親子支援、（三）幼児保育者のためのリカレント教育、（四）研究会、（五）出前講座・講師派遣、（六）研究紀要の刊行、（七）センター情報誌の発行、（八）児童文化の育成、などです。

昨年度は、秋に「馬とふれあう一日」という親子向けの事業や、12月に開設記念行事のシンポジウム「三重の子育てを考える」などを実施し、多くの方々の参加がありました。また、出前講座は反響も大きく、県内各地の幼稚園や保育所等から多数の依頼を頂いております。

今後、皆様のお力をお借りしながら、少しずつ確かな前進と

●地域に根ざす短期大学をめざして●

平成18年4月から高田短期大学に新しい学科が生まれます。
今までの幼児教育学科、オフィス情報学科の構成から、

子ども学科（150名）—— 幼児教育コース
子ども福祉コース

オフィス情報学科（60名）

人間福祉学科（40名）—— 介護福祉コース（開設計画中）

の学科構成を予定しています。（数値は予定入学定員です）
これからも地域の方々のご期待にお応えする、愛される学苑にしていきたいと思ひます。ご期待ください。



平成17年5月6日 総会

蓄積を重ねていきたいと思ひておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

平成17年度
新入生宿泊研修

学務委員長 千草 篤麿

4月27日(水)～28日(木)の2日間、新入生宿泊研修が実施されました。

今年度は会場を白山ヴィレッジゴルフ倶楽部に移し、新たな雰囲気の中で研修を行うことができました。会場は白山町の豊かな自然環境の中、広大な緑の絨毯とそれにマッチした清潔なホテルやコテージが点在するゆとりの空間であり、学生の研修会場としては最適なものでした。

新入生は学内での事前指導により研修の目的や心構え、また当日の具体的なスケジュールを把握した上で、2日間の研修に臨みました。内容は学科別研修を中心に充実したものであり、好天の中で両学科共通のバターゴルフも楽しみました。夜はコテージに4人単位で宿泊するという豪華なもので、学生には大変好評でした。学科別



の研修内容を以下に紹介します。

幼児教育学科では、



まず「子どもと遊びを楽しむ保育者になるために」というテーマのもとに、田口先生の熱のこもった実技指導がありました。この段階で学生は気持ちが高まりました。研修への動機づけがかなり高まったようでした。次に、「つくつて・あそんで・みせて2005」では、各ゼミごとに教員と学生とが一体となった楽しい創作ダンスが披露されました。これから保育者を目指して勉強していく新入生にとって、とても良い経験となりました。

オフィス情報学科では、まず鷲尾先生の「ストレッチ体操」で身体をほぐし、畠山先生の「大学生になること」では、学科の理念などの講義がされました。真弓先生と倉田先生の「自己診断テスト」では、就職活動の事前準備としての研修が行われました。また、中野先生と手嶋先生の「自分を売り込もう」では、自己アピールの絵を各人が描きました。2年後のビジネス社会での活躍に向け、充実した研修がなされました。

オーストラリア英語研修
引率を終えて

オフィス情報学科

助教授 畠山 義啓



みなさんは、デイトライトセービング(Daylight Saving)について聞いたことがありますか？日本では、サマータイムといったほうがわかりやすいかもしれません。日照時間が長くなる夏季の間、時計を1時間進めて時間を有効に使うという制度のことです。オーストラリアでは、この制度を実施している州とそうでない州があります。オーストラリアのハブ(Hub)空港(玄関口)になっている空港のこと)であるケアンズがあるクイーンズランドにはこの制度はありません。シドニーのあるニューサウスウェールズ州、メルボルンのあるヴィクトリア州はこの制度を実施しています。しかも、ダウンアンダー(Down Under)、つまり北半球から見下ろした位置にいるのでそう呼ばれているオーストラリアでは季節が日本とは正反対です。日本は秋から春にかけてケアンズを経由して、シドニーとメルボルンへ行く場合は、まずケアンズに着いたとき日本との時差の関係で、時計を1時間進めます。そして、シドニーあるいはメルボルンに着いたとき、さらに1時間時計を進めます。この制度を

理解していないと、飛行機に乗り遅れることもあります。

さて、オーストラリアの夏の終わりとともにこのデイトライトセービングも終わります。具体的な時期は、イースター(Easter)です。具体的といってもイースターは毎年変わります。キリスト教の復活祭ですが、春分の日(3月21日)の後の最初の満月の次の日曜日となつていきます。今年は、満月が3月26日(土)でイースターが3月27日でした。2006年は4月16日、2007年は4月8日、2008年は3月23日となっています。そして、イースターの前の金曜日は、キリストの受難日(Good Friday)と呼ばれオーストラリアでは祝日となっています。

今年の英語研修参加学生は、出発日の17日が木曜日で、翌日の18日からホームステイに入りました。18日の夕刻から、19日、20日と3日間、他の学生とは会わずにホストファミリーと過ごしました。そして、イースターの関係で25日、26日、27日の夕刻までホストファミリーと過ごしていました。これは通常の高田短大の英語研修よりもはるかに長い時間をホストファミリーと過ごすことになりました。引率者としては、泣きそをかいながら日本へ帰りたいと言いつつ学生がいるのではないかと出発前から心配していましたが、実際は、全

員無事元気に暮らしておりました。それだけではなく、お世話をいただいている現地の方から、今年の学生さんは本当に元気がよくて頼もしいですねとよく言われました。後日、寂しさを感じたときには日記を書いていたなどという話も聞きました。全員が一生懸命現地の生活に慣れようと努力していたようです。きつと、一回りも二回りも大きくたくましくなつて帰国したことを思います。

そして、今年はいよいよことに、長年、本学のオーストラリア研修のお世話をいただいているヴィッキー・バーンさんが4月に来日され、4月22日に本学を訪問してくださいました。当日は、学長をはじめとして、今までに引率された先生方と今年の参加学生でヴィッキーさんを囲み、楽しいときを過ごしました。



卒業生からの
メッセージ

①就職先 ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと ③将来の夢 ④高田短大とは ⑤後輩へのメッセージ

子どもたちと一緒に

平成16年卒 平見和可奈



①松阪市立第一保育園 ②嬉しいと思うことは毎朝子どもたちが「せんせー」と言っていること、毎日子どもたちと一緒に過ごすことができる保育士になれて、とても幸せだなあと感じます。

辛いことは、今年初めて一人担任となり、不安や戸惑いで自分の気持ちに余裕を持てず、一人ひとりの子としっかりと向き合えていないと感じることで、③卒園した子どもたちが「先生に会いたい」と会いに来られるくらい子どもたちに好かれる保育士になることです。

④同じ夢を持ち、励まし合える大切な友だちや私たちの夢を応援し、支えてくれる先生に出会ったことができた場所です。高田短大で出会った友だちや先生と過ごした時間、思い出は私の大切な宝物です。

⑤短大生活は想像していたより忙しく、大変だと感じる人も多いと思います。また、実習へ行くといういろいろな壁にぶつかり、悩むこともあると思います。そんな時は、保育士を目指して短大に入学した時の気持ちを思い出して下さい。辛くてどうしようもなくなった時は先生を頼って下さい。高田短大の先生方は、皆さんの思いをしつかりと聞いてくれて、アドバイスをしてくれると思います。私自身もたくさん悩みましたが、先生方に支え

てもらって保育士になることができました。皆さんも夢を目指してがんばってください。

出会いを心の財産に

昭和52年卒 池村智津子



松阪の公立幼稚園に勤め、早28年。振り返ると、実に多くの人と出会い、今私がここにいる。3年前に出会った自閉症のしおん君は、心で見える大切さ、諦めない強さ、そして教育の基本にもう一度立つきっかけをくれた。しおん君一家との出会いから広がり、様々な大きな出会いをすることになる。

いろいろな出合いを油絵で表現し、米国や東京の美術展に入選。またそれをきっかけに出会いが出会いを生む。無駄な出会いなんてないのだ。無駄な時間なんて一秒もない。マイナスと思ったことがある日突然プラスに形を変えるのだから、今自分の周りを見渡して、友だち、先生、かけがえのない人たちに会えたことを噛みしめてほしい。あなたがその道を選ばなかったら、きっと出会えなかった人たちが。私も高田短大ではある恩師との出会いにより絵を描く楽しさを教わった。そして感謝の気持ちを込め、この度体育館に絵を寄贈させていただいた。

皆さんには、一期一会の喜びを持って過ごしてほしい。ぜひいろいろな所へ出て行ってほしい。一つのことによって懸命に取り組むのいい、好奇心いっぱい様々なことを片っ端からやってみるのいい。人との出合いは、時に人を大きく変えることがある。そんな影響力のある人に、自分もなれたらとても素敵ではないだろうか。

社会人1年生になって

平成17年卒 上田 りな

①株式会社シー・ティー・ワイ

②いつでも客観的に、そして冷静になること。「アウェアネス」を持つこと。

③私には、未だこれと言った特定の夢はありません。今、を精一杯、自分の能力を発揮して、的確な判断をして過ごせるようにしたいと考えています。

④職場では、知識を持っていても実際にかされなければ何の役に立ちません。知恵を持つことが重要であると考えます。自分自身で「自分を育てることのできる環境」を作ることが大切ではないでしょうか。

⑤2年間を無為に過ごすか、有意義に過ごすか。自分が納得できるような時間を過ごしてください。

勉学継続奮戦中

平成16年卒 談 莉萍



①鈴鹿国際大学国際関係学科3年次編入 ②嬉しいことは、大学で世界中いろいろな国や地域の友だちができたことです。

辛かったことは、1年間、1時間に1本しかない伊勢鉄道の電車で通学していたことです。

③中国で日本に関わる貿易会社を作りたいと思っています。

④高田短大に入学した事で、私は以前から、大学生活を送りたいという夢を実現できました。更に、オフィス情報学科の2年間で身につけた情報操作技能は、今後高度発展していく情報世界の中で、必須の能力と考えています。

⑤中国留学生の皆さん、学生時代は人生の中で最も輝いている時期と思っています。いろいろな学生がいますが、中国人としてのプライドを持って、日本の社会で知識を得ることの楽しみ、そしてお互いに理解しあうことの橋渡しとなるように頑張ってください。私も負けないように頑張ります。

公告 平成16年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表

平成17年3月31日

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(7,293,276,849)	(7,062,713,768)	(230,563,081)	固定負債	(248,761,195)	(251,451,075)	(△) 2,689,880
有形固定資産	(4,097,206,317)	(4,277,529,613)	(△) 180,323,296	退職給与引当金	248,761,195	251,451,075	△ 2,689,880
土地	310,500,677	310,500,677	0	流動負債	(458,144,852)	(360,705,156)	(△) 97,439,696
建物	3,313,893,954	3,464,965,144	△ 151,071,190	未払金	127,845,572	24,334,978	103,510,594
構築物	119,257,115	131,039,052	△ 11,781,937	前受金	253,376,135	257,828,000	△ 4,451,865
教育研究用機器備品	124,644,858	143,623,545	△ 18,978,687	預り金	24,476,709	24,279,734	196,975
その他の機器備品	8,098,684	9,510,882	△ 1,412,198	修学旅行費預り金	48,708,436	50,188,444	△ 1,480,008
図書	189,722,321	185,220,665	4,501,656	卒業諸費預り金	3,738,000	4,074,000	△ 336,000
車輛	1,169,230	2,750,170	△ 1,580,940	負債の部合計	(706,906,047)	(612,156,231)	(△) 94,749,816
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	基本金の部			
その他の固定資産	(3,196,070,532)	(2,785,184,155)	(410,886,377)	科 目	本年度末	前年度末	増 減
借地権	2,257,500	2,257,500	0	第1号 基本金	7,012,851,692	7,004,488,942	8,362,750
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第2号 基本金	464,000,000	232,000,000	232,000,000
施設利用権	182,829	212,035	△ 29,206	第4号 基本金	150,000,000	150,000,000	0
有価証券	3,838,498	3,838,498	0	基本金の部合計	(7,626,851,692)	(7,386,488,942)	(△) 240,362,750
差入保証金	350,000	300,000	50,000	消費収支差額の部			
退職給与引当特定資産	258,490,000	258,490,000	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備抵充引当特定資産	1,904,790,000	1,509,620,000	395,170,000	翌年度繰越消費支出超過額	△ 400,699,102	△ 326,732,651	△ 73,966,451
長期火災保険特定資産	373,591,070	357,940,960	15,650,110	消費収支差額の部合計	(△) 400,699,102	(△) 326,732,651	(△) 73,966,451
財政調整資金特定資産	650,000,000	650,000,000	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
長期前払金	1,284,655	1,239,182	45,473	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	(7,933,058,637)	(7,671,912,522)	(△) 261,146,115
流動資産	(639,781,788)	(609,198,754)	(30,583,034)				
現金預金	478,426,669	449,756,308	28,670,361				
未収入金	113,071,796	105,180,002	7,891,794				
仮払金	7,887	0	7,887				
修学旅行費預り資産	45,167,436	50,188,444	△ 5,021,008				
卒業諸費預り資産	3,108,000	4,074,000	△ 966,000				
資産の部合計	(7,933,058,637)	(7,671,912,522)	(261,146,115)				

就職先一覧

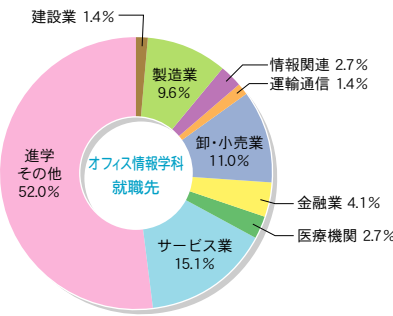
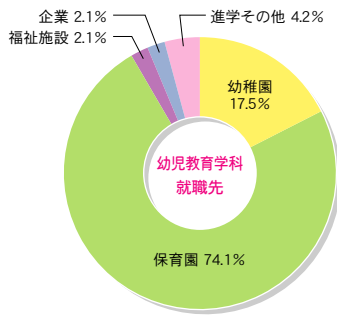
幼児教育学科 就職先

◆幼稚園（公立）

小俣町立小俣幼稚園、亀山市立亀山幼稚園、尾鷲市立三木幼稚園、河芸町立千里ヶ丘幼稚園

◆幼稚園（私立）

暁の星幼稚園、エンゼル幼稚園、白子ひかり幼稚園、白百合幼稚園、すずか幼稚園、第2すずか幼稚園、双康幼稚園、第1さくら幼稚園、第2さくら幼稚園、津田第2幼稚園、津幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園、まるこ幼稚園、和順幼稚園



◆保育園（公立）

いなべ市立山郷保育所、大垣市立三城保育園、小俣町立ゆりかご園、亀山市立加太保育園、亀山市立和田保育園、楠町立南保育園、菰野町立朝上保育園、菰野町立菰野保育園、鈴鹿市立河曲保育所、鈴鹿市立牧田保育所、亀山市立関保育園、津市立相愛保育園、久居市立野村保育園、松阪市立三雲北保育園、松阪市立三雲南保育園、宮川村立宮川保育所、四日市市立ときわ保育園

◆保育園（私立）

あおい保育園、あかつき保育園、あがたが丘保育園、有滝保育園、石薬師保育園、いずみ保育園、一色保育園、嬉野保育園、大山田東保育園、大山田北保育園、片田保育園、亀山愛児園、岸田保育園、久保保育園、公園西保育園、光陽希望ヶ丘保育園、光陽桑部第2保育園、さくら保育園、サン保育園、塩浜保育園、白塚愛児園、第2石薬師保育園、高田保育園、津愛児園、津カトリック保育園、つくし第2保育園、大安中央保育園、トーマスぼーや保育園、豊野保育園はなこま分園、中須保育園、長太の浦保育園、七和保育園、野登愛保育園、野町保育園、ハートピア保育園、浜田保育園、東大淀保育園、久居保育園、ひので保育園、藤水保育園、ほうりん保育園、高岡ほうりん保育園、まつさか幼児学園、マリア保育園、三重保育園、三重愛育保育園、みどり保育園、ゆめが丘保育所、杜の街ゆたか保育園、四日市厚生会保育園、わかすぎ保育園、若葉保育園

◆福祉施設

松尾キッズクラブ、聖マッテヤ子の子の家、竹永学童保育所、津市児童福祉会館

◆企業

新日本製薬㈱、高田学苑、三重トヨタ自動車㈱

オフィス情報学科 就職先

◆建設業

ミサワホーム東海㈱

◆製造業

㈱サイネックス制作本部、不二精工㈱、㈱丸和製作所、伊藤印刷㈱、㈱三水フーズ、豊田樹脂㈱

◆情報通信業

㈱三重電子計算センター、㈱シー・ティー・ワイ

◆運輸業

亀山急送㈱

◆卸売小売業

㈱山口商会、スーパースンシ㈱、三重トヨタ自動車㈱、㈱リョウシン、タケシヨウ㈱、㈱ホンダ四輪三重販売、ドコモモール玉垣店、東海物産㈱

◆金融保険業

岡三ビジネスサービス㈱、北伊勢上野信用金庫

◆医療福祉

丸岡医院、小倉歯科医院

◆サービス業

坂倉税理士事務所、真砂貢会計事務所、三重ハイウェイサービス㈱、アルティア鳥羽、国際警備保障㈱、三重県漁業協同組合連合会、津青色申告会、ブラザ洞津、ココパリゾート72

◆四大編入

三重大学、鈴鹿国際大学、四日市大学、松阪大学、名古屋商科大学、愛知大学、愛知学院大学、名古屋産業大学、豊橋創造大学、日本福祉大学

◆専門学校

あいち建築デザイン専門学校

同窓会の近況

北端 一子

3歳児に絵本を読んでいると、そばから1歳児がのぞき込んで絵本を見にきました。中の文章に関係なく「ウサギさん」と言っってウサギを指差し、「にんじん」と言っっては、人参を指差し「ます。」「ウサギさんがいるのよ」と1歳児の言葉を取り入れながら話を進めました。ストーリーを邪魔されなければ、3歳児は、嫌がることもなく1歳児を受け入れ、「ここにおいで」と仲間に入れていきます。年齢によって絵本の見方は違います。それぞれの相手によって、ストーリーを重視したり、ポイントだけを読んでみたり、絵を見てストーリーを作ったりと、1冊の絵本からでも、いろいろな読み方があります。方言があったり、子どもたちの知らない言葉があったりするのでとても楽しいです。特に子どもたちの反応が絵本のすばらしさを倍増してくれているようです。



さて、同窓会役員も新しいメンバーが加わり、本年度がスタートしました。今年度も昨年度と同様にバザーを続け、それぞれのクラスの同窓会通信費を補助します。少しの金額ですが、どしどし短大同窓会事務局へ連絡してください。バザーの収益金がもう少し集まりましたら、何か新しいことを計画しようかと相談しております。そのためにも、バザーへの出品物をお願いし、多くの収益が望めるようにしたいですね。理事の方だけでなく、たくさんの方々のご協力をよろしく願います。高田短大に遊びに来てください。待っています。

編集後記

短大通信第40号をお届けする運びとなりました。40号は従来の内容に加え、研究センターに関する記事や新入生宿泊研修についてのコーナーを新たに設け、地域の方々にも広く短大の「今」を知っていただけるよう編集を進めてまいりました。

今後とも通信の内容の充実に努めてまいりたいと思います。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

(Y)